

市民

▶10月22日の臨時市議会で、狭山商工会議所元会頭・小林栄一氏(入間川)が名誉市民に推挙されました。



▲狭山市コミュニティ施設特別整備事業の補助金で根山、松風、入間第9区、東急入間川の4自治会館、新狭山1・3丁目自治会合同の自治会館が完成しました。
また、富士見2丁目自治会では車椅子の貸し出しを開始しました。

▼国道16号片側4車線化未整備区間に着手。



▼入間川小学校移転事業に着手。



▲水と親しめる楽しい遊び場・せせらぎ子ども公園が上奥富運動公園内に完成しました。

都市整備



▲入間川地区・狭山一番街の電線中化事業を開始。

その他

▶第1回彩の国人にやさしいまちづくり賞で狭山台図書館・体育館・プールが奨励賞を受賞▶笹井配水場を建設

▲第二環境センターのゴミ焼却熱を利用した温水プールなど、健康増進や機能回復訓練などを行なえる狭山市ふれあい健康センター・サビオ福荷山が完成し、来年2月に業務を開始します。



◀市内小学校にお年寄りを招待し、子どもたちといっしょに給食を楽しむふれあい給食が行なわれました。

その他

▶重度心身障害者福祉タクシー制度の対象者を拡大▶高齢者のための公衆浴場利用券助成事業を開始しました

福祉

▼5月6日、特別養護老人ホーム・むさしの園が入間地区に開園しました。



国などに法規制を要望するなど、積極的に取り組み、また、具体的な対策を見つけ出すために狭山市ダイオキシン類問題検討委員会を発足させ活動中です。

環境

◀4月1日から市内全域で古紙・古布の収集を開始しました。また9月からペットボトルの試行収集を市内6地区17自治会で開始しました。



▲市では、ダイオキシン問題に対し、産業廃棄物処理場の視察、土壌、大気中のダイオキシン類濃度の調査、県、

平成9年

狭山の一年を振り返って

狭山の一年を振り返り、主な出来事を写真でおとどけます

交通防災

◀1月27日、災害時に食料品の提供を受ける災害時における応急食糧供給等の協力に関する協定を狭山市食品衛生協会と締結、また、5月21日、災害時にお互いに助け合い円滑な対応をするために狭山郵便局と災害時における狭山市と狭山郵便局の協力に関する覚書を締結、5月26日、災害時の消防用水を確保するため秩父生コンと災害時における消防活動業務に関する協定を締結しました。



▲市民の安全を守る防災拠点・新消防庁舎が完成、稼働

都市交流

▶1月30日、国内で初めての友好交流都市を名水の里として有名な新潟県津南町と調印しました。



◀6月18日、昨年友好交流都市となった中国杭州市一行が訪問、両市の市民主体の交流に向け意見を交換しました。また11月11日、韓国統営市議員団一行が訪問、市内施設などを見学しました。



教育

◀AET(語学指導助手)による、英語教育のさらなる充実を図ります。

昨年引き続き、いじめ根絶対応委員会が活動。また、教育センターでは、登校拒否児童などの学校生活への復帰を支援する「適応指導教室」を開設しました。



行政



▲4月1日、森田欣治氏が狭山市助役に就任しました。



▲7月1日、水野公民館内に水野市民サービスコーナーがオープンし、住民票や戸籍、印鑑証明などが受け取れるようになりました。また、公民館の月曜開館、リサイクルセンターのリサイクル品の展示・譲渡を土曜日にも実施できるようになりました。

その他

▶10月5日、市民総合体育館で大相撲秋巡業・狭山場所が開催され、5千人のかたが来場、迫力ある取組を堪能しました。



▲3月23日、ペットボトルロケット全国大会が開催され、国内だけでなく、台湾や米国などから240チームが参加しました。